

## グリーン物流推進のための新たな提案

### 31フィートコンテナ共同利用方式による

### 「スーパーグリーン・シャトル列車」計画

(JR貨物と鉄道利用運送業界による共同プロジェクト)

(提案事業者)

日本貨物鉄道株式会社

日本通運株式会社

全国通運株式会社

社団法人 全国通運連盟



エコンくん



## 《ご提案の趣旨》

### (現状と課題)

- 31フィートコンテナは大型トラックから鉄道利用へのモーダルシフトに効果的でニーズも強い
- 転換需要の多い主要区間では、転換に必要な輸送力がタイト
- 1荷主・1利用運送事業者による転換では、片道利用となりやすく、単独では往復利用のマッチングは難しい



### (改善策)

31フィートコンテナ共同利用方式による  
「スーパーグリーン・シャトル列車」計画

- 物流の大動脈区間での新たな利便性の高いシャトル列車の設定と鉄道利用運送業界のチャーターによる多くのお客様のニーズに応えられる輸送枠の確保
- シャトル列車と一体で31フィートコンテナを鉄道利用運送業界で一括設備し、共同利用システムを構築
- グリーン物流を目指す多くのお客様が容易に利用できるオープン参加システム



## (改善効果)

- 多数のお客様が利用しやすい輸送枠と31フィートコンテナを一括確保し、共同運用

➡ オープン参加が容易。高い利便性

- 鉄道利用運送業界全体の共同運用の取組みによる31フィートコンテナの往復マッチング

➡ 往復実入り運用による効率性

- その結果として、多数のお客様のモーダルシフトによりCO<sub>2</sub>削減に大きく寄与

➡ CO<sub>2</sub>削減想定効果 11,878 ~ 23,755トン-CO<sub>2</sub>



## 《具体化計画》

### 1. シャトル列車の設定と鉄道利用運送業界によるチャーター

- 区間 物流の大動脈の2大都市圏間
- ダイヤ 夜間発・早朝着 朝一番配達可能なダイヤ
- 輸送枠 立ち上がり時に31フィートコンテナ専用により・下り最低各10両分を確保

### 2. シャトル列車専用31フィートコンテナの一括設備と共同利用

- 大型トラックからの転換が容易なウィングコンテナを鉄道利用運送業界で一括設備
- グループ運用による輸送枠と一体の共同利用システムを構築
- ウィングタイプは2種類を用意。主力となる標準タイプと背高タイプ
- 輸送枠に見合う必要個数を一括設備(貨車1両に31フィートコンテナ2個積載)

### 3. 多くのお客様が容易に利用できるオープンシステム

- 本件プロジェクトに参加する利用運送事業者を通じて、上記1、2により確保された輸送枠とコンテナを一体提供
- 週1回からのご利用も可能

### 4. 実施時期および推進体制

- 本年度内にお客様のための試験輸送を含め実施
- 鉄道利用運送業界とJR貨物による計画の具体化のための推進協議会を設置し、計画の詳細を精査してきており、多数の事業者の共同運営のもとに、荷主のオープン参加利用方式により本件計画を推進

# シャトル列車による31フィートコンテナのオープン参加利用システム

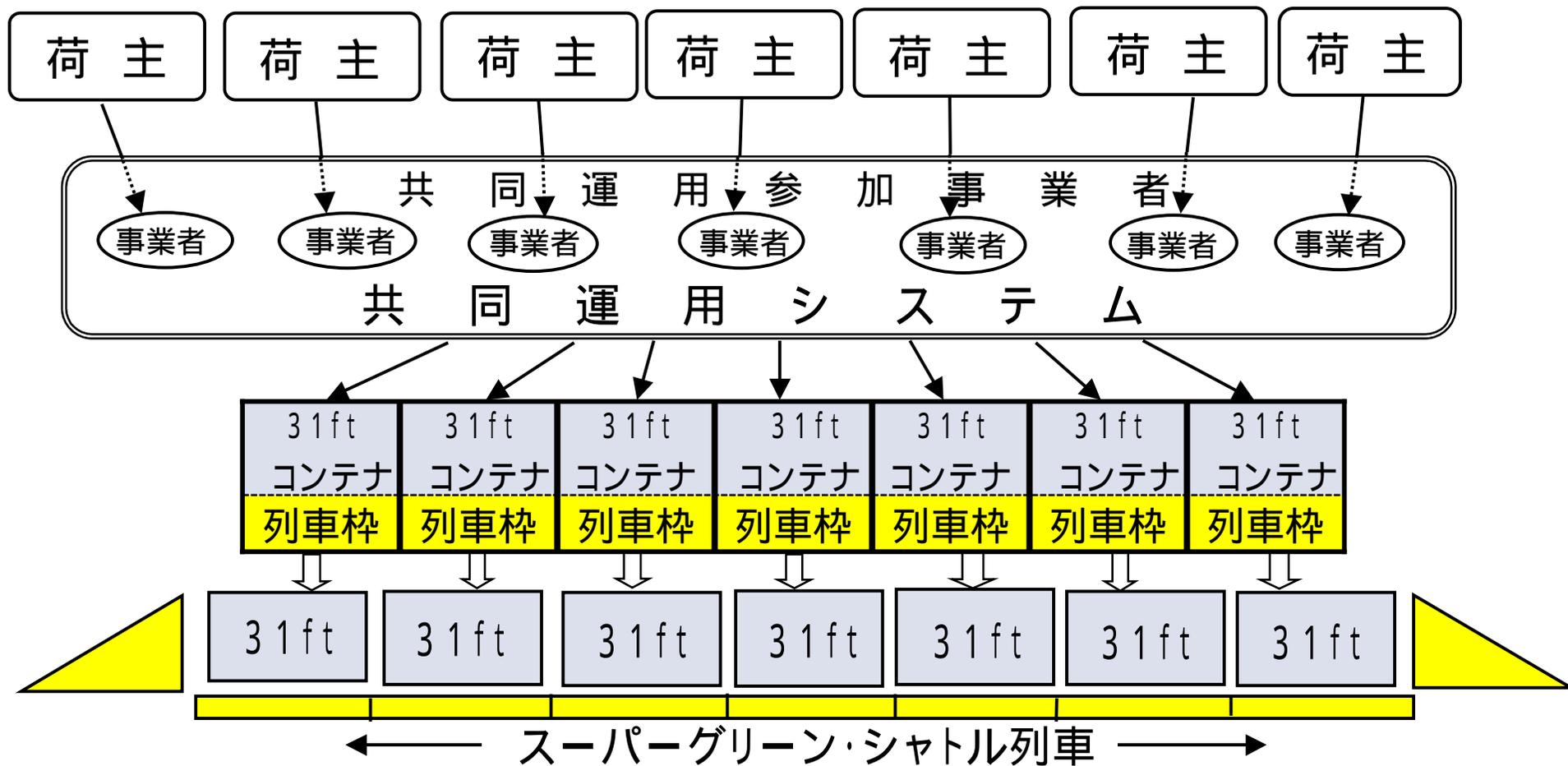
モーダルシフトを目指すお客様が誰でも容易に利用できるシステムです

シャトル列車と一体で31フィートコンテナをまとめてあらかじめ確保

鉄道利用運送業界がシャトル列車と31フィートコンテナを共同運用

共同運用に参加する鉄道利用運送事業者を通じて、簡単に利用可能

不特定多数の荷主、トラック事業者が規模の大小にかかわらず利用可能



もっとエコに。もっと便利に。



# 31フィートコンテナ共同利用方式による スーパーグリーン・シャトル列車計画

